

2016年 9月 25日

主 日 礼 拝

	①8時半～	②10時半～	③夜7時～
司 会	①石井師	②白川 達男兄	③石井師
奏 楽			
祈 禱	①石井師	②石井 秀人兄	③石井師
賛 美	聖歌723番 & 「両手いっぱい愛」		
十 戒			
聖 書	①ルカによる福音書2章36～40節 ②マルコによる福音書6章45～52節		
特別賛美	WINGS		
メッセージ	①「おんぶされた老マリヤ様」大川従道牧師 ②「もっと私に寄り頼みなさい」石井 潤牧師		
献 金	聖歌602番 [献金当番：渡辺姉・千鶴子姉]		
祝 禱			
お知らせ			【司会者】
賛 美	「叫べ全地よ」		

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！
《今週のお知らせ》

1. 本日午後1時～、執事会を行います。10月10日のコンサートについて。
 2. 今週の祈り会は、①木曜朝 10時半～、ボーマン・ルリ子先生。②夜7時半～、ボンケ師(大和祈禱会映像) ③土曜夜8時～、準備祈禱会(石井師)。
 3. 来週日曜午後は、聖歌隊の練習が行われます。(昼食が再開します！)
- ☆10月10日のコンサートのチラシが出来上がりました。どうぞお買いください。

10/3(月):長野家庭集会 10(月・祝):「チャペルコンサート」(ボーマン師・2時)
16(日):執事会 23(日):聖歌隊 24(月):長野家庭集会 27(木):WOGA 集会

一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [9/25～10/2]

date	本日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	イザヤ 4-6章	7- 9章	10- 12章	13- 15章	16- 18章	19- 21章	22- 23章	24- 26章
新約	ガラテヤ 3章	4章	5章	6章	エペソ 1章	2章	3章	4章
チェック	旧 新	旧 新	旧 新	旧 新	旧 新	旧 新	旧 新	旧 新

「もっと私に寄り頼みなさい」

～信仰の道をもっと明確に歩む～

「主はわが力、わが盾。わたしの心は主に寄り頼む。わたしは助けを得たので、わたしの心は大いに喜び、歌をもって主をほめたたえる。」

詩篇28篇7節

主はわたしの力、わたしの盾、わたしの心は主に依り頼みます。主の助けを得てわたしの心は喜び躍ります。歌をささげて感謝いたします。〔新共同訳聖書〕

「わが力なる主よ、わたしはあなたを愛します。主はわが岩、わが城、わたしを救う者、わが神、わが寄り頼む岩、わが盾、わが救の角、わが高きやぐらです。わたしはほめまつべき主に呼ばわって、わたしの敵から救われるのです。…この神こそ、その道は完全であり、主の言葉は真実です。主はすべて寄り頼む者の盾です。主のほかに、だれが神でしょうか。われらの神のほかに、だれが岩でしょうか。」

詩篇18篇1-3、30・31節

ダビデの詩篇と呼ばれるものの一つですが、ダビデは戦士でした。しかし、主人であるサウル王に狙われたり、敵にも狙われたり、ひとり孤独の中で主に寄り頼みました。いつも実際の現実的な敵との戦いが具体的にありました。

私たちはそのような戦国の世で神に従っているわけではありませんが、ある意味で私たちも目に見えない敵との戦いがあります。しかし、その敵が目に見えない故に、空を打つような戦いをしてしまうことがあります。だからこそ、この時代私たちの信仰が不確かなものになりやすくなります。その戦いがどうしても自分自身のための戦いになってしまうからです。

主のために戦う信仰者としての道を歩むとは一体どういうことなのでしょう？それには、私たちの敵を良く知らなければなりません。私たちの敵である悪魔は自分をひたすら隠して近づいてきます。特にこの先進国と呼ばれる豊かな世界にとっては、それは、教育の現場であったり、社会の思想や、考え方であったり、別の宗教という枠組みではない部分でもしっかりと入り込んでいます。先日以前にこの教会でご講演くださった宇佐美実先生のメッセージをお聞きましたが、世界には、ヒューマニスト協会というグループがあって、これは神(創造主)を否定する最も大きな宗教のような団体で、進化論を植え付け、人間は神なしでも十分にやっていけると信じ込ませ、創造主を信じるキリスト教を否定し、人間主義、人類を賛美するように導いているとのことでした。それはきつと、最終的にはこの世の君であるサタン崇拝へと向かっていくと感じました。また先生のお話の中で、昭和天皇が敗戦直後マッカーサーに「宣教師と聖書を送って欲しい」と頼んだという内容が戦後50年を超えて時効となり、事実として公開されたという大いなる内容が紹介されていました。聖書とキリスト教の教えが戦後の日本に最も必要なものであったことを昭和天皇はよくご承知だったことに驚きを覚えました。